

### 1.背景・問題意識

阪神タイガースがリーグ優勝したことにより、今年は何かとホーム球場のある甲子園周辺が主にテレビというメディアを通して紹介されることが多かった。自分が10年以上も住んでいる街ということで、馴染み深い場所もたくさん放映された。しかし、甲子園がお洒落の街として取り上げられていることはなかった。

### 2.調査目的

たくさん雑誌やテレビで紹介される中でどうして、お洒落な街と言われないのか、また大学のあ  
る岡本駅周辺はどうしてお洒落な街と言われるのだろうか。この2つの街を比較することによって、何が人をお洒落と言わすのかを調査する。

### 3.調査対象

阪神甲子園駅を中心に半径500メートル以内。阪急岡本駅を中心に半径500メートル以内。

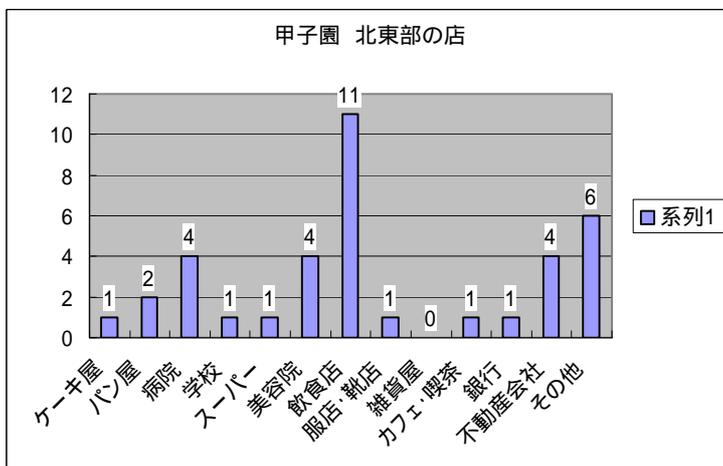
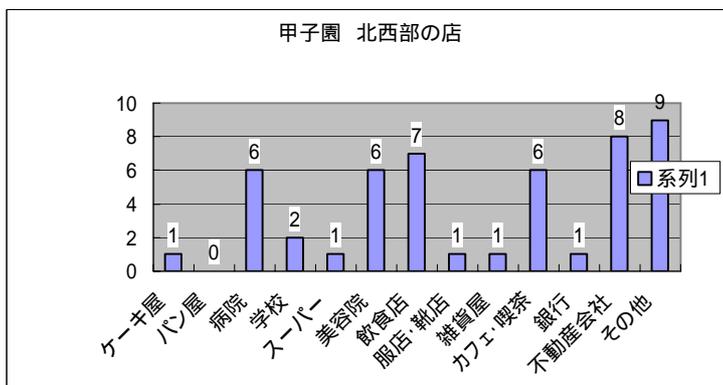
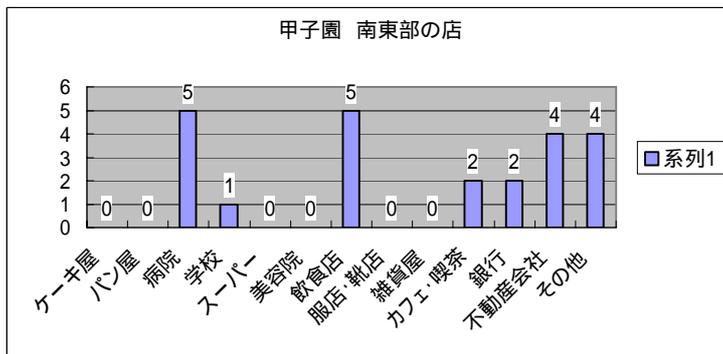
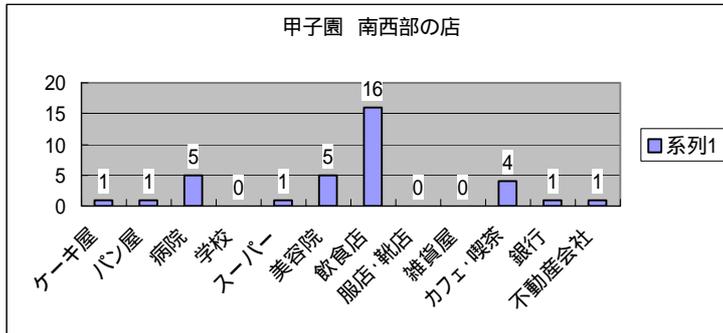
### 4.調査方法

- ・調査時期 10月28日～11月7日
- ・調査方法 詳細な地図を持って街を練り歩く。  
建物の高さ、どのような店があるのかを片っ端から調べる。
- ・記録方法 駅前の写真、表に店の種類・数を書く。

### 5.調査項目

・コンビニ・ケーキ店・パン店・学校・派出所・パチンコ店・カフェ・学校・ファーストフード・美容院・病院・飲食店・服店・靴店の数。マンションの高さ。そのほか地図を見て歩きながらチェックしていく。

## 6. 調査結果 ・甲子園



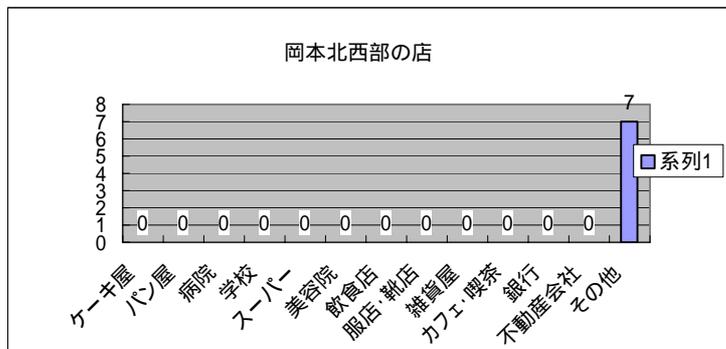
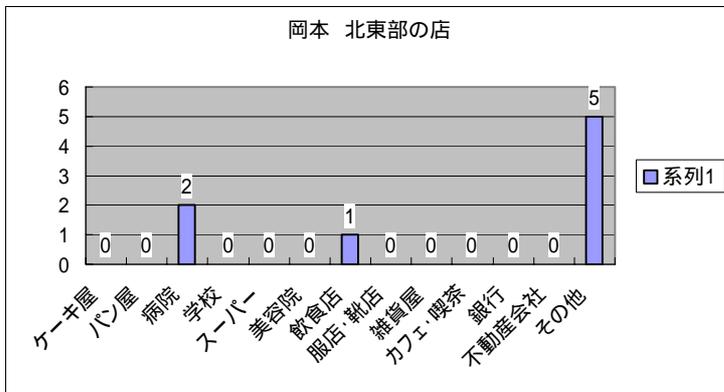
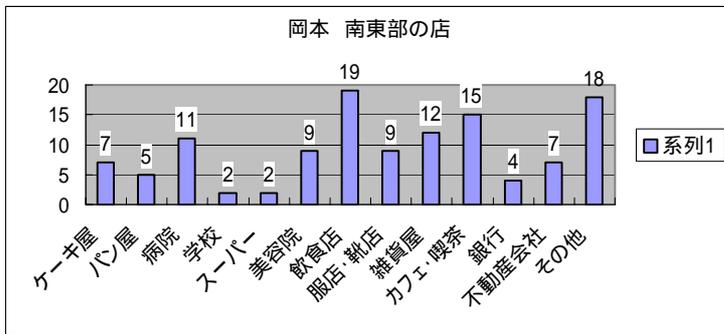
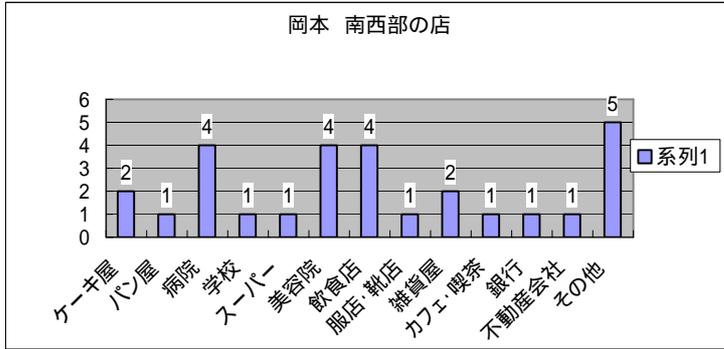
自分の住む街甲子園を練り歩いてみて、新たな発見がとて多かった。いつも見ている風景でもお店に注目して見してみると、不動産店の数・飲食店の数・病院の数の多さに驚いた。甲子園駅から半径500メートルの間に不動産店17店・飲食店39店・病院20件と約過半数を占めた。

飲食店の中でも最も多かったジャンルはお好み焼き・たこ焼きである。その次にスナック・中華料理・すし屋という順に多かった。

それに比べてみて、ケーキ店・パン屋の数は少ない。スーパーにパンもケーキも売っているからだろうか。カフェ・喫茶店を一まとめにしているが、カフェと呼べるような店は1店しかなかった。

ここでカフェと喫茶店の違いは、コーヒー専門店を“喫茶店”とし、特に看板に何も書いていない店を“カフェ”とした。

6. 調査結果・・・岡本



岡本周辺は甲子園に比べて、圧倒的にケーキ店の数が多かった。特にJR摂津本山までの道の間にケーキ店が集中している。また、甲子園とまったく数の違いが見られたのが“雑貨店”だ。甲子園では本当は見られることができない輸入雑貨が置いてある店が多く見られた。

また岡本の飲食店の中で圧倒的に多かったのが、居酒屋である。学生の飲み会に使用されているような居酒屋が、岡本駅南東部に集中して見られた。居酒屋の次にはすし屋が多かった。その他の項目の中で岡本ではクリーニング屋が半数以上を占めた。クリーニング屋の多さには本当に驚いた。

不動産店の数は甲子園・岡本ともにそう変わりは見られなかった。

7. 岡本 周辺 写真による比較



種類・・・カフェ  
総ガラス張り



種類・・・カフェ  
総ガラス張り・テラスつき



種類・・・パン屋  
総ガラス張り・二階のカフェもガラス



種類・・・ヤング服店  
総ガラス張り



種類・・・ケーキ店  
総ガラス張り



種類・・・花店  
総ガラス張り

## 7. 甲子園 周辺 写真による比較



種類・・・喫茶店  
コンクリート壁



種類・・・喫茶店  
タイル張り

## 8. 分析

甲子園と岡本のまったくの違いは、お店のつくりにある。甲子園のお店はタイル張り・レンガ造り・コンクリートに対し、岡本のお店は、総ガラス張りのものが大半を占める。またお店の照明が甲子園は電球(オレンジ)に対し、岡本では白熱灯・蛍光灯といった明るいものが多かった。

店の種類では同じ服店でも岡本は若者(学生・OL)を対象にした百貨店に入っているような店が主流だが、甲子園では一般家庭が経営しているようなブティックが多かった。年齢層も40代～60代をターゲットにしているように思えた。

ここで本題に戻り、なぜ岡本はお洒落といわれ甲子園は言われないのか？私はガラス張りに関係あるのではないかと思う。なぜなら、ガラス張りにすることにより、メリットがあるからだ。

ガラス張りにすることによって、

- ・ お店の中の様子がはっきり見える。・・・お店の中がいつもきれいにされる。
- ・ お客さんも解放的な気分になる。
- ・ 外からの太陽光が入りお店の中の雰囲気も明るくなる。
- ・ 雰囲気が明るかったらお客さんの気分も明るくなる。

以上のこと柄があげられると思う。明るく、開放的な街こそ、“お洒落な街”といわれるのではないだろうか。

また根本的な問題だが、岡本のある神戸市東灘区は阪神・淡路大震災による多大なる被害を受けた。なので、お店も新しく立て替えられたものがほとんどだ。しかし甲子園のある西宮市甲子園7番町・浦風町は震源地から神戸に比べれば離れているので、建物は厳しくとも半壊程度で済んだ。よって、そう立て替えする店・家は少なかった。やはり建物が新しいほうがキレイな街に見えるし、建物の作りも新しいものが多いのだろう。

## 9. まとめ

初めてタウンウォッチングをして、自分の街を客観的に見直し、よいところも悪いところも見る事ができた気がする。岡本という比較材料があったのでできたことだ。自分で街を歩くことの大変さを身にしみて感じる事ができた。

## 10. 調査の評価

今回の調査の問題点は、自分が何に注目してタウン・ウォッチングをすればよいのか、なかなかテーマが決まらなかったことだ。テーマが早く決まればもっと綿密な下調べができたかもしれない。もっと深く街のことを知っていたのなら、もっと深い内容のレポートができたかもしれない。日々たくさんの物事に目をむけ、広い視野をもって調査ができるようになればいいなあと思いました。